

パストボール

1 パストボールのあゆみ

1998年、小学生から高齢者まで3世代に亘ってプレー可能なアーヴァイン・ファミリー・スポーツとして上田市で考案され、同年、日本パストボール協会を設立し、(財)日本レクリエーション協会の推薦スポーツの用具指定を受けました。

2002年9月、真田町傍陽地区に地域活性化組合と協力して、講習用コース9ホールを設置し、翌年9ホールを増設しました。

2 パストボールの競技

- ・パストとは、牧草地または草原のことを言います。
- ・テニスボール大の中空ボールを1本のステイックで打ち、ホール(162mm)にカップイン、またはピンを転倒させ、スコアを競うスポーツゲームです。
- ・ボールは天然ゴムに低反発素材を加えて加工、弾性は二種あります。
- ・ステイックのシャフトはゴルフ用品を使い、木製ヘッドのロフトは二種(27度、36度)あり、ステイックの長さは四種あります。
- ・ボールは、強く打っても50mほどしか飛びません。所謂スライスとかフックはありません。
- ・ボールの打ち方(スイング)は、ゴルフと全く同じです。アドレス・グリップも同様です。
- ・パッティングには、ヘッドのバックフェイスを使用することができます。

3 パストボールの基本マナー

- ・プレー中禁煙とします。
- ・プレー中、同伴者にアドバイスを求めることができる。
- ・周囲の安全を確認する。

4 パストボールの基本ルール

- ・リプレイスはピンに近付かない30cm以内とする。
- ・ボールがネットを越えるか紛失した場合、その場から2打加算してプレーします。
- ・ボールがネットかその他の設置物に近接した場合、ステイックの長さ以内にリプレイスできます。この場合に限りボールがピンに近付いても良い。
- ・パー数を2打越えてカップインしない場合は、1打加算してそのホールのプレーを終了(プレーアップ)します。
- ・その他はローカルルールに従う。